

ナス早熟栽培に適する有望台木

農業研究センター 球磨農業研究所

担当者：武田好文

研究のねらい

樹勢コントロールが容易で、収穫初期より収量が高く青枯病抵抗性を持ち合わせている台木の品種選定を行い、球磨地域の気象条件に適した早熟栽培の安定化を図る。

研究の成果

- 1 選定した台木品種「台太郎」
- 2 特性概要
 - (1) 播種は穂木よりも5日程度早播きが必要で、接ぎ木作業は「赤ナス」「トルバム・ビガー」よりも容易であり、節間の伸長が良好で、トゲが無い。
 - (2) 樹勢は「トルバム・ビガー」よりも弱く、「赤ナス」よりも強いが、過繁茂になることは少なく、時期別変動も少ない。
 - (3) 秀品率が高く、秀品収量、商品果収量も多い。
 - (4) 収量は収穫初期より多収となり、収量の時期別変動が少なく、収穫後期まで高い収量が望める。
 - (5) 青枯病の発生は認められなかった。

普及上の留意点

- 1 早熟栽培で最も特性を発揮し、低温伸長性に欠けるので促成栽培には不向きである。
- 2 苦土欠乏は「トルバム・ビガー」よりも発生しにくいですが、追肥不足は樹勢の低下につながり、褐紋病等の病気の発生が多くなる。
- 3 半身萎凋病、ネコブセンチュウには耐性を持っておらず、汚染圃場では使用できない。
- 4 青枯病もレース 汚染圃場や菌密度が高い場合には発生する恐れもある。

表 1 台木特性

(平成9年度：8年12月2日播種 穂木、筑陽)

	樹勢 ¹⁾	等級割合				10株当たりの等級別収量				10a当たりの 商品果換算収量 (kg)
		秀品 (%)	優品 (%)	良品 (%)	外品 (%)	秀品 (kg)	優品 (kg)	良品 (kg)	外品 (kg)	
自根	1	70	17	7	6	76.5	19.1	7.8	6.0	8,210
赤ナス	2	62	21	11	6	76.2	25.3	13.4	8.6	9,123
茄子の力	3	63	22	10	5	92.4	31.6	15.2	7.7	11,052
台太郎	4	71	18	8	3	116.3	27.5	13.2	7.1	12,466
トルバム・ピガー	5	64	21	10	5	86.3	28.7	14.1	5.9	10,250

樹勢¹⁾: 収穫収量時、1 (弱い) ←3 (中位) →5 (強い)

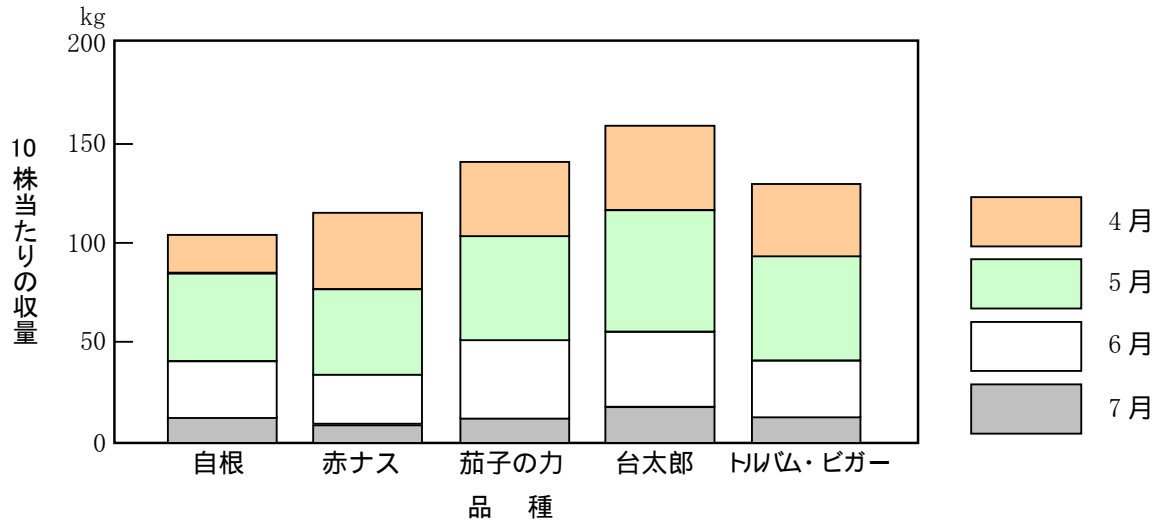


図 1 10株当たりの商品果月別収量 (平成9年度：8年12月2日播種 穂木、筑陽)

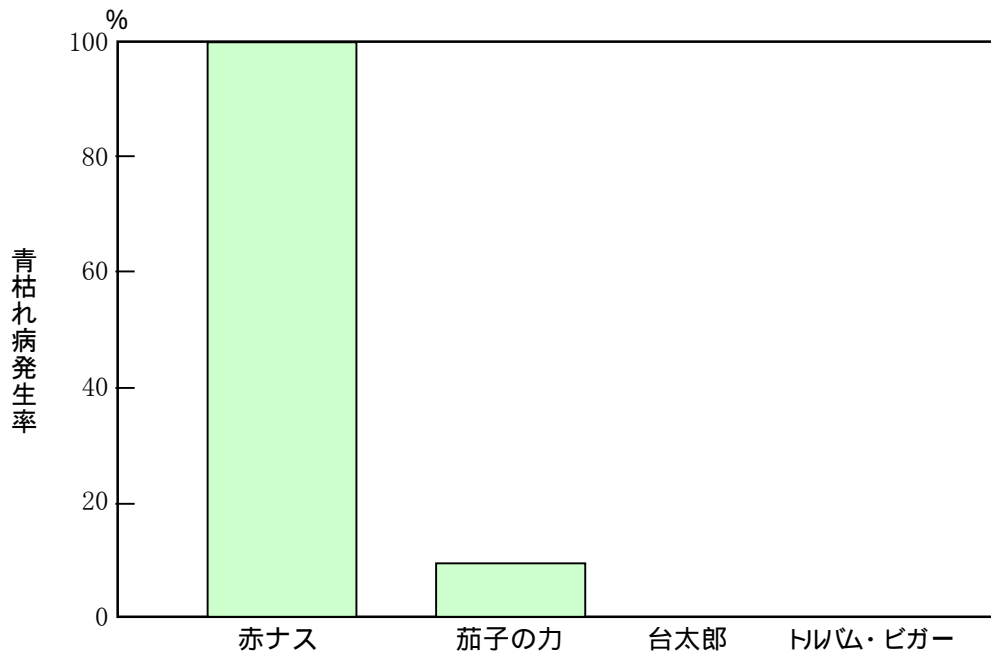


図 2 台木別青枯れ病発生率 (%) (平成10年度：9年1月28日播種 穂木、筑陽)